

Ueda

上田市民と行政をつなぐ、お役立ち情報紙

広報うえだ

4月号

2020 (令和2年)

No.326

特集

……36ページから

上田の未来、 一緒に考えましょう

第二次上田市総合計画 『後期まちづくり計画』

令和2年3月市議会定例会

市長施政方針…………… 2

令和2年度実施

上田市職員採用試験…………… 7

マイナンバーカードの申請はお早目に!

マイナポイント制度が始まります…… 9

新規事業の募集を開始します

「活力あるまちづくり支援金」を創設 …… 34

北太平洋地域初!

太古のクジラの全身骨格化石を発見… 35

誰もが安全で安心して住みやすい上田を目指し、
全力で取り組みます。

東日本台風からの災害復旧・復興に向けた対応状況等

被災された市民の皆様への生活再建支援は、国・県の制度による被災者生活再建支援金に加えて、市独自の被災者生活再建支援金の支給を昨年末から開始しました。また、市内外から3200万円を超える義援金を上田市にお寄せいただき、長野県から配分された義援金とともに、被災された方々に順次、お届けします。ふるさと納



税制度を活用した災害支援寄附金と別所線応援プロジェクトも、合計が8500万円に上っており、多くの皆様からの心温まるご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。損壊した道路、河川、農林業用施設等の本復旧は、本定例会に関連予算等を提案しており、引き続き、関係機関と連携を図りながら、早期の復旧・復興に向け全力で取り組みます。別所線千曲川橋梁等の災害復旧事業については、1月臨時会で補正予算および関連議案の議決をいただき、上田市が事業主体として進めていくこととなりました。国土交通省千曲川河川事務所では、地域住民の安全確保に向けて、左岸堤防の本復旧工事を6月の出水期までに完了させる方針であることから、市も、国および鉄道事業者との連携を密にし、橋梁等の早期復旧に鋭意取り組んでいきます。

災害に強いまちづくりの取組

これまでも、自主防災組織が行う防災用資器材の整備に対する支援を行ってきましたが、令和2年

度からの3年間は、その補助率と補助限度額を時限的に引き上げます。併せて、県の自主防災アドバイザー等との連携も図りながら実践的な防災訓練に対する支援の充実にも努めるほか、今回の台風災害や県管理河川の浸水想定区域の見直しを踏まえた災害ハザードマップの見直しも進めていきます。

資源循環型施設建設の取組

資源循環型施設の建設は、地域住民の安全・安心を将来にわたって保証する計画の策定に向け、「資源循環型施設検討委員会」において当初の予定を延長して活発な議論を行っており、丁寧に話し合いを進めています。1月に開催した委員会では、ごみ減量の取組をはじめ、施設の規模・方式などの基本的条件、環境対策などの検討結果の取りまとめに向けた協議を行い、現在、そこで示された各委員からの意見を踏まえて調整を進めています。資源循環型施設建設は、市政の最優先課題として位置付けており、今後も地域住民の皆様との合意形成に向けて全力で取り組みます。

地域の雇用対策

市では地域企業の人材確保を重要課題と位置付け、関係機関と連携を図りながら、学生等若者や移住希望者の就職促進に努めています。来年度においては、新たに正規に雇用する従業員の奨学金返済を支援する中小企業に対し、その支援した額の一部を市が補助する「学生等地域就職促進奨学金支援事業」を実施するほか、産学官協働によるキャリア教育も充実させながら、若者等の市内就職と定住を図っていきます。

第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」策定の取組

市では、第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」を第2期総



自治・協働・行政

上田市では、自治の最高規範として平成23年に上田市自治基本条例を施行し、市民、市議会、そして市が協力しながら、「参加と協働による住民自治の推進」と「地域内分権による地域自治の推進」に努めています。令和2年度はこれまでの成果の検証とともに、社会

情勢や運用状況等を踏まえた条例の見直しに取り組んでいきます。

自然・生活環境

長野県道路公社が管理運営する三才山トンネルが、9月1日から通行料が無料化されることになりました。東信地域と中信地域を結ぶ基幹道路として、物流はもとより観光面や地域振興からも重要な路線であり、今後ますます地域間交流が促進されていくものと期待する一方、国道254号の交通量の増加が見込まれるため、丸子地域における県事業のバイパス整備に併せて、関連する市道の一体的な整備を進めていきます。

産業・経済

地域の経済・雇用を支え、地域づくりの主体として大きな役割を果たしている中小・小規模企業の振興に向け、「中小企業・小規模企業振興条例」の制定について、今定例会に提案しました。多様な機関と連携を図りながら、効果的な施策を総合的に実施していきます。今年度から新たに近隣町村、県、JA等とプロジェクトチームを組み、首都圏からの農業人材の誘致育成、独立就農までの切れ目のない支援により、新規就農者を増やす取組を進めています。また、人材誘致のインセンティブとなる農業機械等購入補助制度も新設した

ところであり、令和2年度も引き続き、これらを活用し担い手確保を進めるとともに、福祉就労先を探している福祉事業者と労働力を探している農家とのコーディネートを行う「農福連携」にも新たに取組んでいきます。

健康・福祉

一昨年から取り組んでいる、出産直後の母親が心身の休養を取りながら、助産師による育児支援が受けられる「産後ケア事業」を更に拡充し、上田市立産婦人科病院等での24時間体制で助産師が見守り支援する「宿泊型」を導入していきます。高齢者の介護予防、健康増進事

教育

老朽化が著しい第二学校給食センターの改築に向けて、令和2年度、基本設計および実施設計に着手するほか、学校給食における食物アレルギー対応に関する基本方針の策定も進めます。また、令和9年に開催される長野国体の基準を満たす新テニスコートの整備については、このほど基本構想を策定したので、今後、具体的な整備に向けて取り組んでいきます。

文化・交流

交流文化芸術センターの運営検証は、昨年8月に経済団体や社会教育団体、文化芸術に精通した皆様からなる運営検証委員会を設置

市庁舎改修・改築の取組

新本庁舎の建設工事については、免震装置が設置され、鉄骨も組み立てられはじめました。このまま工事が順調に進めば、夏頃までには屋根も施工され、新本庁舎の全体像が見えるようになります。



施政方針はインターネットでも
ご覧いただけます。

動画・全文をご覧ください。



市ホームページ

動画はこちらから

歳出

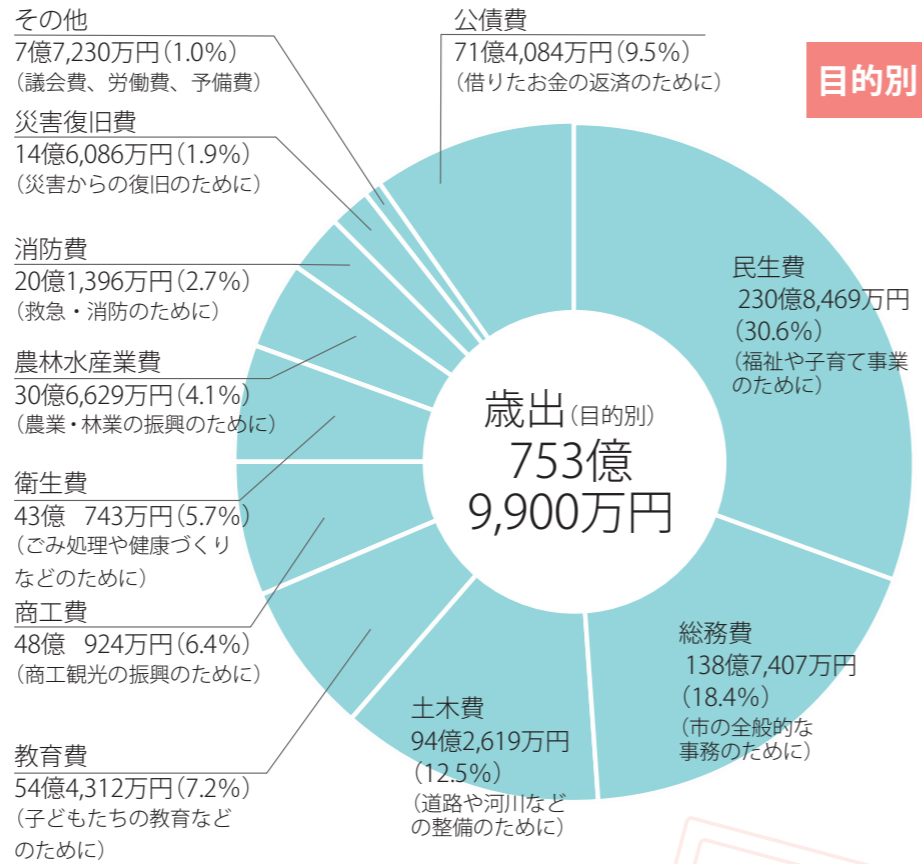
令和2年度は、最終年度となる第二次上田市総合計画に掲げる将来都市像を具体化するための施策展開を念頭に置き、「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込まれた各種施策や市民要望の実現に向け、市長公約として掲げた「上田再構築プラン」に位置付ける7つの課題を踏まえ設定した7分野へ重点的に予算配分を行いました(重点分野ごとの特徴的な事業は次のページに掲載しています)。

目的別では、前年度より総務費が48億8千万円余、災害復旧費が14億6千万円余増えた一方で、公債費が2億5千万円余、土木費が1億7千万円余減りました。

性質別では、前年度より普通建設事業費が56億円余、人件費が21億2千万円余増えた一方で、物件費が19億7千万円余、公債費が2億5千万円余減りました。

性質別

性質	令和2年度 予算額	構成比
義務的経費	扶助費	121億3,894万円 16.1%
	人件費	114億2,953万円 15.1%
	公債費	71億4,084万円 9.5%
投資的経費	普通建設事業費	115億1,182万円 15.3%
	災害復旧事業費	14億6,086万円 1.9%
その他経費	補助費等	126億6,695万円 16.8%
	物件費	77億6,466万円 10.3%
	貸付金	61億5,580万円 8.2%
	繰出金	41億4,482万円 5.5%
	その他	9億8,478万円 1.3%
	合計	753億9,900万円 100.0%



目的別

特別会計 341億円

特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするために一般会計と分けて整理する会計です。

全体では、0.2%、7千万円余減りました。これは、国民健康保険事業で、国保事業費納付金が交付精算の影響等により減額となったことが主な理由です。

◎令和2年度特別会計予算一覧

会計名	当初予算額	増減率(%)
土地取得事業	4億円	0
同和地区住宅新築資金等貸付事業	1,350万円	△8.8
国民健康保険事業	149億8,743万円	△2.6
後期高齢者医療事業	22億1,872万円	10.5
介護保険事業	161億9,324万円	0.8
駐車場事業	1億3,277万円	1.9
武石診療所事業	1億1,316万円	△1.6
特別会計合計	340億5,882万円	△0.2

企業会計 188億円

企業会計とは、料金や使用料などの収入によって運営される会計です。

全体では、4.4%、7億9千万円余増えました。これは、公共下水道事業で長寿命化、地震対策などに要する経費が増えたことが主な理由です。

◎令和2年度企業会計予算一覧

会計名	当初予算額	増減率(%)
真田有線放送電話事業	5,697万円	△2.4
産婦人科病院事業	6億2,157万円	△10.0
水道事業	53億1,185万円	2.5
公共下水道事業	104億9,316万円	7.4
農業集落排水事業	23億395万円	0.5
企業会計合計	187億8,750万円	4.4

一般会計 11.3%増の754億円

一般会計の予算額は、令和元年東日本台風による災害復旧事業が本格化すること、市庁舎の建設事業が最終段階を迎え関連経費が大幅に増加することおよび、会計年度任用職員制度の開始に伴う人件費の増などから、前年度と比較して11.3%、76億7,620万円増の753億9,900万円となりました。

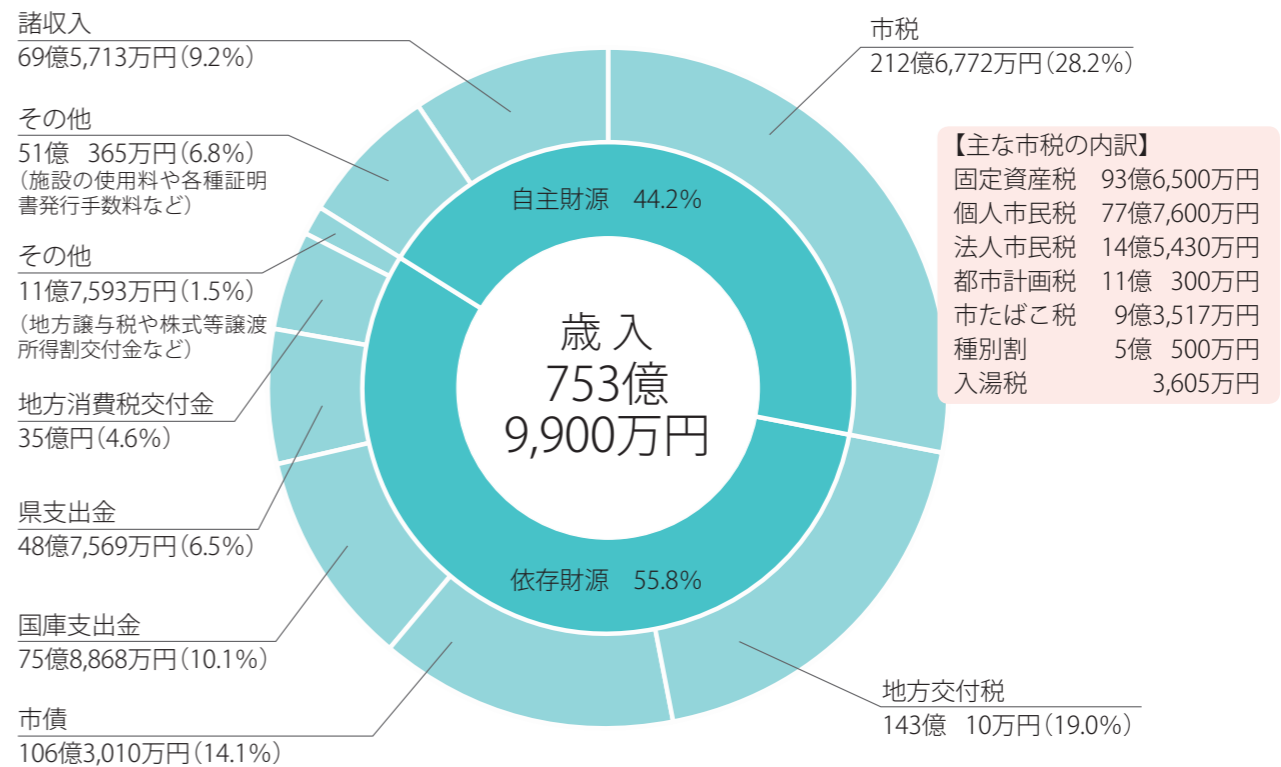
また、災害復旧関連事業を最優先に取り組みつつ、将来にわたっての安定した財政運営に十分配慮し、行財政改革の推進と持続可能な財源構造の確立を見据えた予算編成に努めました。

歳入

市税は、課税対象者の増加等により個人市民税、固定資産税は前年度並みの推移を見込みましたが、法人市民税においては、法人税率改定に伴う減収が見込まれるため、市税全体では前年度と比較して0.6%、1億2千万円余減の212億6,772万円としました。

地方交付税は、地方財政の目安となる地方財政計画において増額とされていることなどから、前年度と比較して2千万円増の143億円余としました。

市債は、前年度と比較して52億円余増の106億3,010万円としました。



【主な市税の内訳】

固定資産税	93億6,500万円
個人市民税	77億7,600万円
法人市民税	14億5,430万円
都市計画税	11億300万円
市たばこ税	9億3,517万円
種別割	5億500万円
入湯税	3,605万円

自主財源：市税、使用料など市が自主的に得られる財源

依存財源：地方交付税、国・県支出金、市債など国や県の基準によって定められた額が交付される財源

市債現在高(見込み) …1,197億円

学校や道路などの公共施設を整備するときに、市の借金にあたる市債の活用をしています。財政負担を複数の年度に分けることにより、計画的な財政運営を行うことができます。

◎市債の年度末現在高見込額

区分	令和2年度末	令和元年度末
一般会計	692億8,094万円	654億3,238万円
特別会計	2億2,657万円	2億8,597万円
企業会計	501億8,696万円	528億7,955万円
合計	1,196億9,447万円	1,185億9,790万円

基金現在高(見込み) ……205億円

災害など不測の事態や将来の大きな事業、借入金の返済などのために、市の貯金ともいえる基金を積み立てています。また、積み立てた基金を事業実施のために有効に活用しています。

◎基金の年度末現在高見込額

区分	令和2年度末	令和元年度末
財政調整基金	21億920万円	27億920万円
減債基金	35億5,932万円	41億5,932万円
特定目的基金	109億9,735万円	116億7,997万円
その他の基金	16億4,860万円	16億7,886万円
定額運用基金	22億526万円	22億526万円
合計	205億1,973万円	224億3,261万円

令和2年度当初予算

令和2年度当初予算が、市議会3月定例会で可決されましたのでお知らせします。
◎表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。

重点7分野の特徴的な事業

新は新規事業 充は充実させた事業

健康が実感できる上田の実現に向けた健康・福祉の増進 [140億円]

- 新 地域特性に基づくフレイル予防・健康増進事業 … 1,242万円
- 新 健康プラザうえだ10周年記念事業 … 356万円
- 新 県外定期予防接種補助金 … 188万円
- 新 産後ケア事業(宿泊型の実施) … 150万円
- 新 骨髄バンクドナー支援事業 … 30万円
- 新 不妊治療費補助事業(不育症治療費補助) … 20万円
- 充 健康幸せづくりプロジェクト事業 … 1,376万円
- 充 介護予防・生活支援事業 … 1億4,599万円
- (新) 認知症高齢者等個人賠償責任保険料など

「SDGs」を原動力とした持続可能な社会の構築、「Society5.0」の実現 [13億円]

- 新 活力あるまちづくり支援金事業 … 500万円
- 新 信州上田第九プロジェクト事業 … 500万円
- 新 男女共同参画計画策定事業 … 159万円
- 新 第四次行財政改革大綱策定事業 … 59万円
- 新 自治基本条例事業 … 41万円
- 充 ふるさと上田応援寄附金推進事業 … 2億8,000万円
- 充 住民自治組織支援事業 … 5,549万円
- 充 広報シティブロモーション推進事業 … 1,576万円
- 総計画策定事業(後期まちづくり計画) … 388万円

子ども・子育て・教育支援、教育環境の重点整備 [72億円]

- 新 長野大学修学支援事業補助金 … 4,161万円
- 新 児童家庭相談システム整備事業 … 233万円
- 充 子育て支援 身近な公園改築・更新事業 … 5,300万円
- 充 第二学校給食センター改築事業 … 2,564万円
- 充 英語指導外国青年招致事業 … 1,055万円
- 充 母子家庭等援護事業 … 1,577万円
- (充) 子どもの生活・学習支援事業など
- 丸子統合保育園建設事業 … 5億3,877万円
- 長野大学運営費交付金 … 2億6,695万円

AI,IoTなど最先端技術を活用した産業振興、行政サービスの効率化 [47億円]

- 新 スマートシティ推進事業 … 1,020万円
- 新 農福連携事業負担金 … 385万円
- 新 学生等地域就職促進奨学金支援事業補助金 … 100万円
- 新 6次産業化推進事業(ワイン振興イベント) … 40万円
- 新 上田市商工業振興プラン改定事業 … 29万円
- 充 担い手農家育成定着支援事業 … 1,950万円
- 充 IT技術者育成事業 … 1,120万円
- 充 若者就職支援事業 … 168万円
- クラインガルテン整備事業 … 1億3,225万円

郷土愛につながる学び・世代間交流の創出と人づくり [0.5億円]

- 充 ふるさと上田 先人顕彰事業 … 318万円
- 充 全国山城サミット負担金 … 30万円
- 信州上田学推進事業 … 714万円

自然環境保全と循環型社会形成及び安全で安心して暮らせるまちづくり [186億円]

- 新 河川用悪水路改修事業 … 1億7,000万円
- (千曲川左岸地区の雨水調整池整備等)
- 新 防災情報システム整備事業 … 8,615万円
- 新 災害ハザードマップ更新事業 … 988万円
- 新 空家等対策推進事業 … 650万円
- 新 別所線再生支援事業 … 400万円
- (災害関連・城下駅整備関係)
- 充 市庁舎改修・改築事業 … 51億6,120万円
- 充 武石地域総合センター整備事業 … 7億8,051万円
- 充 自然運動公園総合体育館整備事業 … 5億5,000万円
- 充 丸子地域自治センター整備事業 … 3億6,529万円
- 充 消防団車両等整備更新事業 … 5,791万円
- 充 観光施設整備事業 … 3,900万円
- (武石観光センター観光トイレ改築工事)
- 充 市営住宅改修事業(千曲町・中丸子団地) … 1,354万円
- 充 自主防災組織資器材購入補助金 … 675万円
- 充 テニスコート新設整備事業 … 400万円
- 充 第二次上田市スポーツ推進計画策定事業 … 178万円
- 資源循環型施設搬入等道路調査検討事業 … 403万円

広域都市・姉妹都市間や長野大学等との連携による学園都市・国際文化創造都市づくり [0.3億円]

- 新 多言語相談ワンストップセンター事業 … 860万円
- 新 聖火リレー等運営事業 … 548万円
- 新 トレーニングキャンプ支援等事業負担金 … 500万円
- 新 上田市・寧波市友好交流提携25周年記念事業 … 200万円
- 充 メール配信多言語化事業 … 24万円
- まちなかキャンパス運営事業 … 880万円

募集 令和2年度実施 上田市職員採用試験

私たちと一緒にこれからの上田を創造しませんか

情報ピックアップ

- 上 上田市役所
- 丸 丸子地域自治センター
- 真 真田地域自治センター
- 武 武石地域自治センター

令和2年度実施予定の上田市職員採用試験の概要をお知らせします。

試験の種類	試験区分	募集要項公表日	第一次試験実施予定日
大学卒業程度	一般事務・土木技師 ほか	5月1日(金)	7月12日(日)
短期大学卒業程度	保育士	7月1日(水)	9月20日(日)
高等学校卒業程度	一般事務・土木技師 ほか		
民間企業等職務経験者枠			

※試験区分の詳細、受験資格、試験の方法および試験の内容等は、各試験の募集要項をご覧ください。募集要項は公表後、市ホームページからダウンロードできます。また、市役所本庁舎3階総務課および各地域自治センターに備えてあります。

※試験の応募状況等により、上記以外に採用試験を実施する場合があります。その際は改めて募集要項を公表します。

☎ 総務課 TEL23・5332



講座・教室 長野大学「信州上田学」講座

学生と一緒に地域の魅力を見つけませんか

長野大学では、市と連携して教養講座「信州上田学」を開講しています。前期講座「信州上田学A」は、学生と一緒に地域を歩いて、自分たちで見つけた地域の魅力をスマートフォンやデジタルカメラで撮影・記録して、みんなで「うえだマップ」を作り、インターネット上に公開します(フィールドワークあり)。

●日時 5月13日～7月29日の毎週水曜日
12:50～14:20(全11回)

●場所 長野大学、まちなかキャンパスうえだ
(中央2-5-10 丸陽ビル1階) ほか

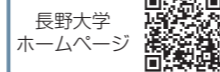
●講師 前川道博氏(企業情報学部教授)

●対象 どなたでも ●定員 先着10名 ●料金 無料

●持ち物 筆記用具、スマートフォンまたはデジタルカメラ

●申し込み 4月21日(水)～5月7日(日)に、住所、氏名、電話番号を下記へ電話、FAX、またはメールで。

●その他 フィールドワーク学習の日は、動きやすい服装で参加してください。
詳細は、長野大学ホームページをご覧ください。



長野大学
ホームページ

☎ 長野大学地域づくり総合センター TEL39・0007 FAX39・0006

✉ renkei@nagano.ac.jp

(☎) 学園都市推進室

☎ 財政課 TEL23・5113